

宮城県林業普及活動情報

2023. 6月号 No. 181

もくじ

各地の林業普及活動情報

P 2～13

- 原木しいたけ生産者巡回指導 (大河原地方振興事務所)
- 七ヶ宿町立関保育所建設に係る資材調達に関する打合 (大河原地方振興事務所)
- こしあぶらの出荷制限全面解除に向けた取組 (大河原地方振興事務所)
- 伴走型市町村支援選定のためのヒアリング (大河原地方振興事務所)
- 森林・林業木材産業関係者向けインボイス制度説明会 (大河原地方振興事務所)
- 安定的な未利用材の供給体制整備に向けた取り組みへの支援 (大河原地方振興事務所)
- 広葉樹を活用した木造建築物の建設 (仙台地方振興事務所)
- 松くい虫被害の拡大防止に向け地上散布及び空中散布(特別防除)を実施 (仙台地方振興事務所)
- 「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の活動団体の支援 (仙台地方振興事務所)
- 林業研究会への支援 (北部地方振興事務所)
- 小学生を対象とした「①おおさき山がっこ」の開催及び「②広葉樹植樹体験」 (北部地方振興事務所)
- 森林経営管理制度の推進～市町村モデル支援(伴走型)～ (北部地方振興事務所)
- 「第1回おおさき未来の森づくり2023」への支援 (北部地方振興事務所)
- こけしのミズキ材確保について (北部地方振興事務所)
- GNSS測量機器導入への支援 (北部地方振興事務所)
- 森苔関連イベントに関する打合せ (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 集積計画に基づく事業発注業務への支援 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 「全国都市緑化仙台フェア」での木工ワークショップへの支援 (北部地方振興事務所栗原地域事務所)
- 間伐事業に関する計画作成支援 (東部地方振興事務所)
- 効果的なシカ対策について (東部地方振興事務所)
- 林務担当者会議の開催 (東部地方振興事務所)
- 松くい虫防除(空中散布)の実施支援 (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 「市民参加の新たな森づくり」開催について (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 森林経営計画策定に向けた打合せ (東部地方振興事務所登米地域事務所)
- 松くい虫の防除のための薬剤散布(地上) (気仙沼地方振興事務所)
- 木材の需要創出のための中国への丸太原木の輸出 (気仙沼地方振興事務所)
- 第51回全国林業後継者大会及び第73回全国植樹祭に参加 (林業技術総合センター)
- スマート林業・森林調査講座の開催 (林業技術総合センター)
- 森林・林業デジタルリテラシー向上研修の開催 (林業技術総合センター)
- 第60回林業教室(刈払機)を開講 (林業技術総合センター)

原木しいたけ生産者巡回指導

大河原地方振興事務所

【6日(火)】

原木しいたけ生産者を訪問し、今シーズンの生産状況や進捗を確認しながら、情報交換を行いました。今年度スタートする「インボイス制度」への対応方針や、販売会等への要望などを伺い、把握することができました。

引き続き、管内の生産者を巡回し、生産状況の把握及び生産管理指導を通じて管内の特産林産物の生産振興に向けた取り組みを支援していきます。



【生産現場の確認の様子】

七ヶ宿町立関保育所建設に係る資材調達に関する打合せ

大河原地方振興事務所

【12日(月)】

木造化する七ヶ宿町立関保育所の建設に係る契約等が締結され、具体的な行程が示されたことから、適切な進捗管理や事業のポイント、円滑な資材調達方法等について助言、指導を行いました。地域材利用のシンボリックな施設となるよう関係機関と連携していきます。



【打合せの様子】

伴走型市町村支援選定のためのヒアリング

仙台地方振興事務所

【13日(火), 16日(金)】

森林経営管理制度の適正な運用を図るため、伴走型による支援要望があった管内の市町村に対し、現状と課題のヒアリングを行いました。ヒアリング結果を踏まえ、関係機関と連携を図りながら、引き続き取り組みを支援していきます。



【ヒアリングの様子】

森林・林業木材産業関係者向けインボイス制度説明会

大河原地方振興事務所

【20日(火)】

森林・林業・木材産業関係者を参集し、林野庁が主催するインボイス制度のサテライト会場を設置し、参加者の置かれている現状や今後の対応や予定について情報共有を行いました。今後も参加者等の対応状況に応じ、助言していきます。



【サテライト会場設置の様子】

安定的な未利用材の供給体制整備に向けた取り組みへの支援

大河原地方振興事務所

【28日(水)】

会社の伐採計画や木材の流通先等について、情報収集を行ったほか、令和5年度から実施する補助事業の流れや留意点、計画書等の作成方法に係る指導・助言を行いました。

今後は、補助事業を活用して伐採した木材の流通及び再造林が適正に行われるよう、関係機関と連携しながら支援していきます。



【打合せの様子】

広葉樹を活用した木造建築物の建設

仙台地方振興事務所

【7日(水)】

仙台市泉区で広葉樹を活用した木造建築物の建設等を行っている工務店を訪問しました。

工務店では、建築資材として、クリやイタヤカエデなどの「天然乾燥材」を主に使用していました。

丸太の状態ですぐに1年以上乾燥したのち、製材品を積み重ね、雨ざらしにすることで、木の渋等を抜いた木材は色味や艶感を増すことが



【継手】

できるほか、古くからの木造建築工法を用い、継手の1つ1つが手作業で仕上げられ、継手の長さや複雑さからも、揺れに強い木造建設物の建築を可能にしていることも分かりました。

県産材の利用拡大のきっかけづくりを目指す中で、広葉樹の活用に加え、天然乾燥材や古くから受け継がれてきた継手など、普段目にする事が多くない工法や技術にも目を向けもらう活動をすすめて参ります。



【天然乾燥した広葉樹で作られたお皿】

松くい虫被害の拡大防止に向け地上散布及び空中散布(特別防除)を実施

仙台地方振興事務所

【地上散布：6日(火)、7日(水)】

【空中散布：19日(月)】

特別名勝松島地域や県が所管する重要な松林において、松くい虫被害の拡大を防止するための、薬剤の地上散布及びヘリコプターによる空中散布(特別防除)を実施しました。

散布に当たっては、町の広報誌等により周辺住民への周知を図るとともに、空中散布時の送電線との接触事故防止のため、東北電力ネットワーク(株)とヘリパイロットが安全チェックを行い飛行安全の確保に努め、散布を実施することができました。

仙台管内では地上散布及び空中散布を合わせて約160haの松林で薬剤散布を実施しており、今後も特別名勝松島など重要な松林の保全に努めてまいります。



【動力噴霧機による地上散布】



【ヘリコプターによる空中散布】

「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」の活動団体の支援

仙台地方振興事務所

【29日(木)】

仙台管内には「みんなの森林づくりプロジェクト推進事業」により森林整備等の活動を実施している団体が12団体あり、事業等の適切な実施を図るため、地域協議会と連携し、各団体に対し現地での活動支援を実施しています。

今回は、そのうち山元町と亘理町の団体について現地での活動予定箇所の確認や実施状況報告に必要な書類の整理の仕方など、事業実施の留意事項について説明、指導を行いました。



【ツツジが茂る里山林整備を目指す(山元町)】

今後も活動団体への現地指導を行い、各団体の森林づくり活動の円滑な実施を支援して参ります。

林業研究会への支援

北部地方振興事務所

【2日(金), 16日(金)】

鳴子林業研究会連絡協議会及び岩出山林業研究会、それぞれの総会が行われ来賓として出席の上、県の施策等について情報提供を行いました。

提出された議題については全て承認されました。

林業研究会においても高齢化、後継者不足等の課題があり、今後の会の運営方法や活動内容等を整理する時期に来ていることから、引き続き、必要な助言・指導を行ってまいります。



【総会の様子】

小学生を対象とした「①おおさき山がっこ」の開催及び「②広葉樹植樹体験」

北部地方振興事務所

【15日(木), 21日(水), 22日(木)】

15日と21日は、美里町立小牛田小学校から森林教室の支援依頼を受け、当事務所の「おおさき山がっこ」登録サポーターとともに学校近くの蜂谷森公園で森林教室を行いました。

22日には、大崎市立鬼首小学校児童による広葉樹植樹体験（主催：鳴子林業研究会連絡協議会）において、事務所職員が植樹の援助と森の働き等について説明を行いました。

どちらの小学生も、いつもと違う環境下での体験活動に目を輝かせ、楽しみながらそれぞれが森林・林業の一端を学び、理解を深めることができました。



【小牛田小学校 おおさき山がっこ】



【小牛田小学校 おおさき山がっこ】

森林経営管理制度の推進～市町村モデル支援（伴走型）～

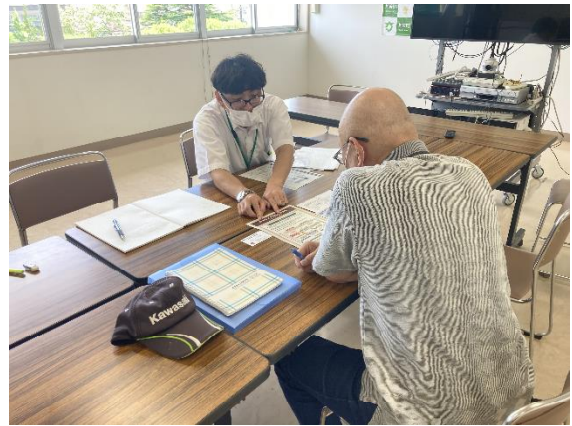
北部地方振興事務所

【15日(木), 20日(火)】

意向調査後の集積計画作成を進めている町において、集積計画（案）による森林所有者への説明に同行・支援しました。

今回、4名（うち1名は共有林代表者）に対し、主として町から「今回意向調査を実施した森林について、町事業として森林整備を進めること」の説明が行われ、各森林所有者から内諾が得られました。

今後、森林所有者から正式に同意を得て、町事業の発注に向けた作業が行われます。



【森林所有者への説明】

「第1回おおさき未来の森づくり2023」への支援

北部地方振興事務所

【18日(日)】

これまで「大崎市民の森づくり事業」として実施された植樹イベントが、大崎市民に限らず誰でも幅広く参加できるものとして新たにスタートしました。

事務所から、森林・林業の役割等を説明するパネルと植樹する際使用する鋤を貸し出したほか、植樹に参加しました。

当日は、大崎市長の開会あいさつの後、参加者約150名で、ヤマザクラ100本、ケヤキ400本を植えました。

来年度以降も隣接区域へ植樹予定であることから、今後も必要な支援を行います。



【記念撮影】

こけしのミズキ材確保について

北部地方振興事務所

【19日(月), 30日(金)】

当管内では、鳴子地区において伝統こけしが制作されていますが、年々ミズキ材の確保が難しくなっており、昨年度（R4）ミズキ材の確保について、こけし工人からの相談を受け、供給体制の整備に向け支援しています。

今回は、こけし工人の案内によるミズキ林の現地視察を行い、併せて大崎市鳴子総合支所にて今後の方向性等を話し合いました。当事務所から、伐採方法・売買契約・搬出等について説明し、工人側からは「今年度少量でもいいから材を仕入れたい」「売買価格について詳しい情報を得たい」



【ミズキの一斉林確認】

との要望が出されました。

今後、昨年度から協力いただいている大崎市、森林組合等の関係者とともに、引き続き要望に応えるための支援を行います。



【打合せの様子】

GNSS測量機器導入への支援

北部地方振興事務所

【26日(月)】

GNSS測量機器の導入を検討している林業事業体とともに、県に配備されているGNSS測量機器の操作実習を行いました。

測定作業は容易であり、機器の精度に問題がないことが理解されたため、事業体では今回の結果を参考に機器を選定し、GNSS測量機器の導入を検討するとのことでした。

今後も作業の省力化に寄与する機器の活用・導入を支援していきます。



【GNSS測量機器による位置情報測定の様子】

森苔関連イベントに関する打合せ

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【21日(水)】

栗原地域では、これまで苔に関する様々なイベント等の開催を通して、苔ビジネスの創出を模索・支援してきましたが、本年度は苔の魅力を年齢層を広げて発信するとともに、グレードを高めたテラリウムの商品化と販路拡大を目指すこととし、8月には栗原地区の小学生を対象とした「くりはらdeキッズ・コケリウムコンテスト」、10月には「苔テラリウム商品化講習会I+トークショー」を開催することとなり、その講師・講演者と打合せを行いました。

「くりはらdeキッズ・コケリウムコンテスト」は、泉青年会議所が主催する「杜のコケリウムコンテスト」のサテライト会場として開催することとなりました。

また、「苔テラリウム商品化講習会I」は東京のテラリウムショップ代表を講師として迎えること、「トークショー」はこの代表と、(株)泉緑化専務、水景屋 RITZ 代表の3人を



【PR用チラシやホームページの作成等について細かく打合せを行いました】

講演者とし、苔の魅力発信や苔による地域おこしの手法等をテーマとすることを確認しました。

なお、東京のテラリウムショップ代表は、講習会の模様のSNS等での発信を検討中とのことであり、くりはらの苔と全国の実需者との繋がりを期待しているところです。

集積計画に基づく事業発注業務への支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【27日(火)】

栗原市は、森林経営管理制度に基づく経営管理権集積計画の公告を経て、経営に適さない森林の保育間伐を実施するとして、事業発注に向けたプロット調査を実施し森林整備事業の積算手法により、令和4年度中に設計金額を算出しています。

しかしながら、発注業務が進んでおらず未だ委託契約が締結されていないことから、その要因の解決に向け、既に除伐・保育間伐の事業を実施済みの大崎市担当部所を訪問し、具体的なアドバイスをいただきました。

大崎市では、意向調査を実施した翌年の令和2年度から毎年度、事業発注を行っており、これまで約20ha程の除伐、間伐の事業化が図られていました。

栗原市として発注が進まない要因としていた隣接する森林所有者との境界確認業務や、実施面積の確定のため測量は行わず、林地台帳の面積、図面等をよりどころとしていることが確認されました。

県としては、大崎市の先行事例を参考として、栗原市が集積計画において公告した275筆約90haの保育間伐の早期発注を支援して行くこととしています。



【大崎市の担当者・林政アドバイザーから、具体的な手法をお聞きすることができました】

「全国都市緑化仙台フェア」での木工工作ワークショップへの支援

北部地方振興事務所栗原地域事務所

【17日(土)】

全国都市緑化仙台フェアにおいて、宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部が出展した木工工作ワークショップの支援を行いました。当日は、親子での参加が多く、熱心に腰掛けなどを製作していました。親御さんからは、釘打ちなど子供に貴重な経験を与えることができたと言った声が聞かれました。木工体験の機会が減少しているなか、今



【盛況だった木工工作ワークショップ】

後も活性化センター栗原支部と連携しながら、木材の良さなど普及啓発活動を継続していきます。

松くい虫防除(空中散布)の実施支援

東部地方振興事務所

【12日(月)～14日(水)】

管内沿岸部の景勝地や離島での松くい虫防除(薬剤の空中散布)について、実施主体の3市町や作業受託者と連携し、安全かつ円滑に事業を実施しました。

散布当日(13日東松島市・女川町、14日石巻市)は、いずれも一時的に、天候による作業中止が懸念されましたが、散布時間の調整や関係者との協議を重ね、雨が止むまでの待機などにより、予定作業を実施できました。また、散布区域や辺縁部での安全確認を行い、適正な事業実施を心がけました。



【ヘリ散布の状況(女川町出島)】

効果的なシカ対策について

東部地方振興事務所

【21日(水)、22日(木)】

管内で施工した各種の防鹿施設(単木保護チューブ及び防鹿柵)の経過観察やメンテナンス(取り外し作業)を行いました。(①石巻市渡波、②金華山島)

調査結果

①単木保護施設: 施工区域(約1,000m²)の植栽木は肥大成長(直径12cm程度)を遂げていましたが、チューブと幹との圧着で、生長が阻害されており、資材を剥がすのに、相当の労力が必要でした。また、樹幹の変形や幹発根も多く、こうした施工には、定期的な経過観察と管理が必要と判断されました。

②防鹿柵: 希少な天然植生の回復を図ろうと、約20年前、三陸復興国立公園内に設置した防鹿柵の植生状況を観察しました。現在はブナやイヌシデなど、多様な天然後継樹種の幼木がシカの採食から免れ、樹高5m程度に生長していることがわかり、資材の性能や施工適地などの参考情報が得られました。



【設置後20年の植生状況(金華山島頂上南部)】

森林経営計画策定に向けた打合せ

東部地方振興事務所

【29日(木)】

管内の町有林で策定予定の森林経営計画について、町担当職員と今後の作業方針等を打合せました。

計画認定要件である間伐等の計画面積や策定作業の手順を確認するとともに、作業で用いる森林クラウドシステムの操作方法を説明しました。また、皆伐と植栽計画箇所では、一貫作業や防鹿柵も計画することを確認しました。

今後も定期的に町と進捗状況等を打ち合わせしながら、計画策定を推進していくことになりました。



【システム操作説明の状況】

「森のゆかり」研修会について

東部地方振興事務所登米地域事務所

【22日(木)】

東日本大震災を契機に設立された北関東の若手原木しいたけ生産者を中心とした「森のゆかり」が新型コロナで中断していた現地研修会を登米市で開催しました。高橋龍朗氏の仮伏せしている施設内では、意見交換が活発に行われるなど、生産者の栽培にかける情熱と意欲に驚きました。高橋氏にとっても今後の生産技術向上が期待される研修会でした。



【仮伏せの意見交換】

「ニホンジカ食害対策」支援

東部地方振興事務所登米地域事務所

【21日(水)】

登米市内でニホンジカによる植栽木の食害が増加しているため、登米市と協働で市有林における被害発生状況を確認しました。同時に、補助事業を活用した被害対策の実施や、被害防止手法についても意見交換を行いました。被害発生前の食害防止対策の実施に当たっては、対策が必要な植栽地の見極めや費用の予算化における必要性の提示に課題があることを把握できました。

今後も、被害発生状況を調査しながら、効率的な被害対策の実施に向け、情報を取りまとめ、関係者間で共有していきます。



【主軸の食害の様子】

松くい虫の防除のための薬剤散布（地上）

気仙沼地方振興事務所

【14日(水), 22(木)】

南三陸町で実施する松くい虫の防除のための地上散布について、これまで実施していなかった散布前の事前打ち合わせを行い、事前周知や薬剤散布時の注意点等を事前に確認しました。また、22日の散布実施の際にも立ち会いを行い、薬剤が松の梢端部まで届いているかなど適正に実施されているか確認しました。今後も松くい虫の被害拡大防止のため、適切な防除が行われるように、県、市町で連携していきます。



【散布状況】

木材の需要創出のための中国への丸太原木の輸出

気仙沼地方振興事務所

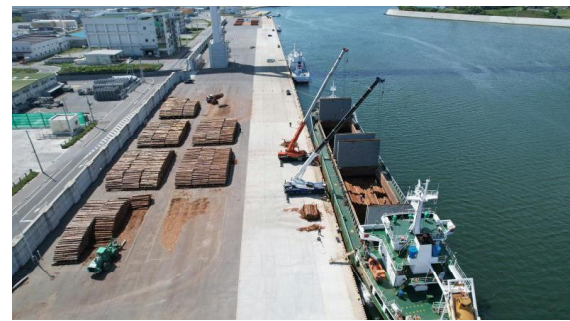
【21(水)】

ウッドショックと呼ばれる、世界的な木材不足の状態が昨年秋頃から回復して、活況を呈していた国産材の需要も落ち着いたことから、林業の生産現場では行き場なくなった木材が、山土場や共販市場に滞留する事態となっている。そこで、余剰となった丸太原木の需要創出のため宮城県森林組合連合会は、全国森林組合連合会と連携して、気仙沼港から初めて丸太原木を中国へ輸出することとなりました。

当所では、輸出に当たって作業工程の確認を行うとともに、輸出の今後の見通しや他県の状況等について情報収集を行いました。また、今回の事例によりノウハウが蓄積されたことによって、将来的に木材輸出を原木流通のサブルートとするため、引き続き関係機関と連携し、木材の安定需給に取り組んでいきます。



【くん蒸状況】



【積み込み状況】

第51回全国林業後継者大会及び第73回全国植樹祭に参加

林業技術総合センター

【3日(土), 4日(日)】

第51回全国林業後継者大会及び第73回全国植樹祭が岩手県で開催されたことから、渥美会長をはじめ、宮城県林業研究会連絡協議会の雄志と共に情報収集を行いました。

1) 全国林業後継者大会(盛岡市)

黒田全林研連副会長の「We Love Forestと豪雨災へのお悔やみとお見舞い、一致団結」のあいさつに続き6名の活動発表とパネルディスカッションを経て大会宣言が行われました。

2) 全国植樹祭(陸前高田市)

式典会場隣接地において奇跡の一本松を背に耐潮性広葉樹を植栽し、オープニングセレモニーに臨みました。陛下ご臨席の下、アトラクションのテーマは一貫して宮沢賢治の童話「虔十公園林」でした。宮城県も優良広葉樹候補木保存園をかかえる名称で紹介したことがありましたから、うれしい出来事でした。

当日は、両陛下のお手植え、お手蒔きの他、緑化功労者等の表彰が行われました。



【聴講する本県参加者】



【植樹を終えて記念撮影(左上奇跡の一本松)】

スマート林業・森林調査講座の開催

林業技術総合センター

【6日(火), 7日(水)】

みやぎ森林・林業未来創造カレッジの主催により宮城県林業技術総合センター(大衡村)にてスマート林業・森林調査講座を開催しました。6日の初級・ドローン講座では、「ドローンによる写真測量・レーザードローンによる森林調査」に関する講義及び実演をしました。

7日の実践・ドローン講座では、自動航行による写真測量とクラウド型ドローン測量サービスによるデータ解析を実施しました。

今後も研修生のニーズに応じた参加型の研修を実施していきます。



【レーザードローン実演】

森林・林業デジタルリテラシー向上研修の開催

林業技術総合センター

【19日(月)】

宮城県林業技術総合センターの主催により宮城県林業技術総合センター（大衡村）にて森林・林業デジタルリテラシー向上研修を開催しました。本研修では、デジタルデータやICT機器等の利活用ができ、導入の効果や問題点等を検討することができる人材の確保・育成を図ることを目的としています。今回は、有限責任監査法人トーマツさまを講師にお招きし、「デジタル化・DXの基礎」「業務改革のポイント」を講義・グループワークを実施しました。

対面参加・WEB参加による様々な年齢や役職、担当業務の参加者同士により多様で活発な意見交換が行われ、課題や気づきを共有することができました。



【グループワーク】

第60回林業教室(刈払機)を開講

林業技術総合センター

【29日(木)】

1,570名の林業後継者を輩出してきた標記教室の選択制講座(刈払機)を2名の受講生の参加を得て開講しました。

「安全な刈払機作業のポイント(林業・木材製造業労働災害防止協会)」に沿い、振動障害、A4用紙による刈刃の研ぎ角の出し方・研ぎ方・あさり付け、刈払機の点検・整備、刈り払い時の基本動作と安全対策について重点的に教示しました。

研修生自ら1時間の補講申し出があり熱意を感じました。



【刈刃のあさり付け実習の様様】